



八 剣 山 通 信

第45号

八 剣 山 発 見 隊

2006年 1月23日 発行

1月22日(日)「2006 しばれ陶芸体験」を実施しました。

【行事の概要】

2006年に入りました。

八剣山発見隊では今年も会員の皆さんに充実したひとときを楽しみながら参加していただくため、いろいろな企画を実施していこうと考えています。今年も多くの方が、企画した行事に参加することで、楽しいひとときを過ごされますよう、よろしくご協力をお願いします。

さて、今年に入って最初の企画として「しばれ陶芸体験」を実施することとなりました。

しばれ陶芸とは、冬の寒さを利用して粘土の表面に掛けた化粧泥を、外の氷点下の気温にさらすことにより凍らせて、自然の織りなす文様を茶碗や皿などにつける方法です。

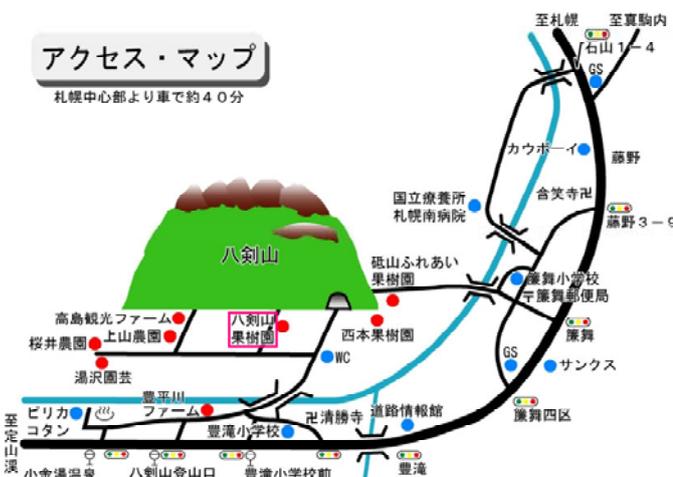
冬の寒い時期にしか行うことができない陶芸の楽しみ方であり、八剣山発見隊の企画として今回で4回目となりますが、過去3回のうち2回については天候に恵まれたため(気温が暖かすぎた)、自然の文様はできませんでした。

しかし今年は、天気予報によると、最高気温が-5度とのことであるため、皆さんが制作した茶碗や皿には、きっと素晴らしい自然の文様が現れることと思います。

八剣山の懐にいだかれた、八剣山果樹園を会場に行われる陶芸教室で、家族や友人などと北海道の真冬ならではの一日を、粘土を使ってお楽しみください。

・主 催 : 八剣山発見隊

【今回の行事開催場所】



イベント開催会場

果樹を育てる作業体験者を募集しています(ボランティア)。

・2月~3月 リンゴ及びサクランボの枝の剪定、枝の集積 等
砥山ふれあい果樹園(瀬戸修一) TEL&FAX 011-596-2694

【行事の感想】

まぶしいほどに晴れわたった青空のもと、お昼の気温は-5度と、しばれ陶芸を行うには最適の気候でした。

はじめに川口先生からしばれ陶芸に関する説明を受け、18人の参加者が粘土を受け取り、茶碗やお皿、置物などの製作に取りかかりました。

皆さん考えていたような形に整えることに苦労しており、何度もやり直したりしていました。中には、完成間近で形が崩れてしまい、粘土をこねるところからやり直している参加者も見受けられました。

完成した作品はストーブの周りで乾燥させて、少し硬くなったところで少しずつ粘土を削って形を整えました。

形を整えてから、参加者が白と黒の化粧泥をかけ、小屋の外の日陰に用意した場所に運びました。気温が低かったことから少し時間が経過すると、化粧泥をかけた部分には自然が織りなす細かいしばれの紋様が現れはじめ、参加者からは、その美しさに歓声が上がっていました。

本日制作した作品は、数日間乾燥させてから川口先生の「宙工房」において焼き上げることとなっています。

(連絡先:「宙(そら)工房」南区小金湯575-17 Tel.596-5439)



【美しいしばれ紋様が入った作品】

【今後の行事予定】

- ・ 2月12日 薫製づくり体験
- ・ 3月19日 雪山中山歩き
- ・ 3月下旬 果樹剪定講習会

発行: 八剣山発見隊事務局(事務局長 山澤 敬)
061-2274 札幌市南区小金湯510番地
Tel 011-596-2920 FAX 011-596-2920
<http://sapporo.cool.ne.jp/hakkenntai/>

2006 しばれ陶芸体験



【 参加者を指導する川口先生 】



【 参加者による作品の制作 】



【 子供たちも制作に参加 】



【 出来上がった作品を乾燥させて 】



【 化粧泥をかけて 】



【 作品に広がるしばれ紋様 】

